



シンポジウム 生活の思想

2025年3月20日（木・祝）

大阪大学中之島センターセミナー室6E+Zoom

参加無料

プログラム

13:00-13:10 始まりのあいさつ

13:10-13:50 生活の思想に向かって：

今ここで生きていることを語るために（織田和明・大阪大学）

13:50-14:30 生活の思想としての〈世相〉：柳田國男の食物論から（磯島浩貴・大阪大学）

14:30-14:40 休憩

14:40-15:20 丸山眞男・藤原弘達・安丸良夫における「生活」の位置づけ：

政治的次元と「台所」、「茶の間」、「イエ」との関連を手掛かりに（平石知久・甲南大学）

15:20-16:00 トラウマと表象の過剰さ：「たどりつかなさ」から現代の生活を考える（井上瞳・広島大学）

16:00-16:10 休憩

16:10-17:00 全体討議

近代日本の思想は高度に抽象的な思想を展開しつつも、同時に「生活」の視点を手離さない。学問は生活と共にあるものであり、そしてまた生活とともにあらねばならないと我々は信じている。戦前から現代まで、様々な分野で活躍する若手研究者たちが日本における生活の思想を見つめながら、新しい生活の思想への道を探ります。

参加お申込み

以下のリンクまたは右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/AKXfPj0ziP>



会場へのアクセスは以下のリンクまたは右のQRコードからご確認ください。

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>



大阪大学社会技術共創研究センター2024年度ELSI共創プロジェクト：生活に根差した技術と芸術の研究：日本哲学の立場から
大阪大学2024年度グローバル日本学教育研究拠点「拠点形成プロジェクト」：三木学の国際拠点形成——哲学的人間学の可能性、人類学と組合主義の交錯と広がり
大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター IMPACTオープンプロジェクト 哲学の実験オープンラボ 生活の思想研究会

お問い合わせ：oda@ist.osaka-u.ac.jp（織田）



哲学の実験

OPEN=LAB



Project
IMPACT



大阪大学大学院人間科学研究科

附属 未来共創センター



私たちは生活している。いや、生活は生のすべてであるから、生活をやめることができないという方が正確だろうか。

私たちは常に生活している。しかし同時に、私たちはしばしば生活が失われることも知っている。

戦時下の思想家であった中井正一は新聞『土曜日』で「今、ここに、生きていることを手離さない生活」を主張した。

生活とは、その落ち着きの上に今一步の鎬ぎを、今一步の切り込んだ批判をもってこそ、今、ここに、生きていることを手離さない生活といえるのである。その意味で、生活は厳かさをもっているのである。

(『中井正一全集』、第4巻、26頁)

今一步の切り込んだ批判こそが生活を厳かにする。気を抜くと、生活から「生きていること」が手離される。生活には、言葉が必要だ。生活を吟味し、磨き上げるための言葉が。中井は、ラスキンとテニソンのエピソードを引き合いに出しながら、生活のための批判を灰色の路線に咲く花にたとえた。花咲く野原に灰色の鉄路が走る日もあるが、しかし「花は鉄路の盛土の上にも咲く」(『全集』、第4巻、24頁)のである。

灰色の世界を私たちの言葉で鮮やかに飾ろう。今ここで生きていることを語るために、生活の思想を始めよう。